

伊豆大島 集中豪雨

災害への備えと復旧支援

写真提供:国土交通省関東地方整備局

伊豆大島集中豪雨

一般社団法人 東京建設業協会 www.token.or.jp webmaster@token.or.jp
〒104-0032 中央区八丁堀2-5-1 TEL.03-3552-5656(代表) FAX.03-3555-2170

TOKYOのみらいへーつなく・つながる

一般社団法人 東京建設業協会

地震・水害・ 火災から…

私たちの命・ 家・まちを守る

災害への備え



災害のタイムライン



伊豆大島豪雨データ

伊豆大島(東京都大島町)では

平成25年10月の台風26号の豪雨に伴い

流木を伴う大規模な泥流によって甚大な被害が発生しました。

東京建設業協会は土砂災害に対し、行政や防災機関とともに

建設業も、いち早く応急復旧に貢献しました。

被災地に届いた土のうは、あらゆる場所で利用された。当協会が送付した60品目を超える資材のうち、土のうは1万5000袋に上った。



平成25年

10月
15日

大雨警報、土砂災害警戒情報

10月
16日

午前2時半 土砂災害が発生 大島町が東京都に災害派遣を要請

10月
17日

東京都が東京建設業協会に要請

当協会は伊豆大島に、行方不明者捜索とがれき撤去に必要な、建設機械9台や建設機械を操作するオペレーター、土のうなどを搬入開始(11月中旬まで)。



▶ 災害から「守る」インフラがあります

豪雨によって山腹の表層土が崩壊し、大量の流木と泥流の土石流を食い止めた、大金沢本川堆積工。伊豆大島ですでに整備されていた数カ所の砂防施設(砂防えん堤、堆積工)が土砂災害の被害を抑えた。

☂ **1時間最大雨量** > 118.5 mm

こたつ板のスペースに、118.5kgの水が1時間で注がれた

☂ **24時間降水量** > 824.0 mm

世田谷区の年間降水量(1645.0mm・平成25年)の半分が降った

▶ 東京建設業協会の会員企業は
災害の現場へ向かいます

当協会は、東京都や国土交通省関東地方整備局と、道路などのライフラインの復旧や人命救助活動に貢献するため、「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結しています。

災害が発生した場合、一日も早く人々が元の暮らしに戻れるよう、会員企業と一丸となって復旧・復興活動に協力いたします。